

BONJOUR

ボンジュール



vol.31 2017.12.15 発行

ASSOCIATION NIIGATA-FRANCE

- 発行 新潟・フランス協会
- 新潟市中央区東堀通6-1038(丸屋本店内)
- TEL・FAX 025(225)2424
- <http://anfrance.com/>

La paix - 平和 -

日仏文化対話とシンポジウム

会長 高木 裕

10月19日から3日間にわたりナント市で開催された「日仏都市・文化対話」に参加するために、本間代表理事、鈴木副会長ご夫妻とともに、フランスに行って参りました。文化を享受する権利をいかに保障し、文化へのアクセシビリティをいかに高めるのかという、地方都市の活性化につながる問題をテーマとし、新潟市をはじめ、ナント市と交流のある都市が参加して、それぞれの文化施策と展望について報告がありました。期間中に、大阪城とナントの大公城との姉妹城協定の署名式が行われたり、最終日には、グララン劇場で、能の上演があったりと、イベントも盛りだくさんで、また、新築のナント美術高等専門学校の建物や、新装なったナント市美術館がイベント会場としてお披露目されました。ナントでの行事を終えた後、われわれ4名は、パリに移動し、10月24日には、新潟・フランス協会パリ支部長の原田さんはじめ、会員のみなさまとの交流会に参加し、私も会長としてご挨拶申し上げました。画家の清水さんのアトリエで、話の尽きることのない楽しい時間を過ごすことができました。

私はその後、一人ナントに戻り、ナント大学主催の国際シンポジウム「アトランティス・プログラム」に参加しました。11月2日から3日間にわたって開催され、第3回目になる今回のテーマは「世界の終末理論」(第1部)と「黙示録の物語と表象」(第2部)で、私は第2部で拙い発表をさせていただきました。参加者は文学だけではなく、思想、科学、アニメ、映画など、多分野にわたります。実はこのシンポジウムは、「ユートピア」Les Utopiales

という、ナント市で2000年から毎年開催されている国際的なSF(映画・アニメ・文学)の祭典と一体となって運営されていました。ちなみに会場のシテ・デ・コングレ(国際会議場)は、音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」La Folle Journéeと同じ会場です。この「ユートピア」には、フランス国内はもちろん、海外からも多くの人が訪れ、これまで80万人以上来場したということで、ナント市が大きな文化拠点としての役割を果たしていることを再確認したと思います。



ユートピア会場



ソブザック副市長とともに

2017ナント、パリ訪問の旅

代表理事 本間 彊

10月18日成田午前発。夕刻パリに到着。高木会長と共にエールフランスにてナント空港へ向かいました。翌19日、鈴木副会長夫妻と合流し新潟・フランス協会メンバー4名がナント市で開催された日仏都市対話などのイベントに参加してきました。訪問の目的の一つに、女性でしかも38才のジョアンナ・ロラン市長に初めてお会いすることでした。女性市長が活躍する創造都市ナントの革新的なスタンスに感じ入りました。日仏都市対話の討論の中で印象に残ったのは、「災害列島の日本で、災害に遭遇したときに精神のバランスを保つため今こそ文化の力が必要で、そのために常に文化を発信し市民が日常の楽しみとしてアクセスできる町にしたい」という郡和子仙台市長の発言でした。見せかけではない上質で本物の文化の創造が問われていると思います。公式行事は新潟市美術館主催の「アナタにツナガル」展。この作品は老老介護がテーマで、作者自身(折元立身)と彼の

母親がモデルとなり、まことにユーモラスな明るさに感銘を受けました。アール・ブリュット(障がい者アート)展「KOMOREBI」は日仏の民間幹事が主体となり、ナントの歴史的建築物で高名なリュ・ユニークで開かれました。新しい切り口のアートで、多くの共感を呼ぶこれからの文化、芸術に繋がることでしょう。

個人的にはナントのお気に入りの街中のホテル(二つ星)で4泊し、歩いて1分のパサージュ・ボムレを毎朝散歩しました。19世紀に造られた3層構造のショッピング・アーケード＝パサージュです。楽しいお店が多くたくさんの人で賑わっています。映画の舞台にもなり、フランスでもここでしか見ることができません。



パサージュ・ボムレ

ナントからパリへ。鈴木副会長ご夫妻と一緒にリュクサンブール公園のすぐ横にある小さなホテルに宿泊しました。パリ左岸のサン・ジュルピス教会付近にありサンジェルマン・デ・プレまで徒歩圏内。カフェや美味しいブーランジェリーも多く、フランスで最も古い創業のボン・マルシェ・リブゴージュ(百貨店)の伝統と革新にフランスのエスプリを強く感じました。24日にはパリ支部の皆さんが心をこめて歓待してくれました。地下鉄ビル・アケム駅近くにある日本文化館で開かれている燕三条の物産展を支部の方の案内で見学しました。フランスの方が包丁や桐製のお盆を購入する姿に、世界は至近距離という驚きを感じました。原田哲男支部長が音頭を取り、清水伸副支部長のアトリエで17名の方々が集い、水上敬子さんによる手づくりのお料理を堪能しました。パリで友人たちが活躍する姿は新潟・フランス協会の誇りでもあり、これからも友情を大切にしたいと思います。日付が変わったことも知らず、賑やかに楽しく夜が更けて行き支部の皆さんと感動を共にしました。



清水さんのアトリエ

パリ支部長 原田 哲男

2017年は私個人でも多くの展覧会、モニュメント作品製作の年でした。

今年の新年度入学式に合わせ、新潟薬科大学新津駅前校舎にエントランスモニュメント、「地球を縫う薬科大学」の製作の依頼を受けました、そして4月除幕式を終え完成。

9月は中国の広州で、ART CANTONに招待作家として参加。

10月はパリの、テイロー基金(Fondation Taylor)での三人展、と同時期にリアリテースペル展(Salon de Realites Nouvelles)に参加。

そして今新たに、2018年1月27日オープニングを予定している、新潟市新津美術館での「パリに生きる新潟の作家たち」展の準備をしています。この展覧会は多くの新潟の皆さんと新潟美術館から協力して頂いて実現されることになります。パリに住む新潟・フランス協会パリ支部の会員の中には、結構多くの芸術家があります。その中の7人で今回はグループ展をします(原田哲男、清水伸、水上貴博、風間ともこオベール、村山真、村山京子、水島優)。花の都パリに憧れて、渡仏して私も45年になろうとしています。パリの「新潟友の会」が7、8年続き、それが2013年に新潟・フランス協会パリ支部になり今日まで続いています。足掛け10年ほどになります。会員数も35人に達し、尚増えているところです。

新潟美術館の展覧会は多くの新潟の皆さんから見て頂きたいと願って企画した展覧会です。パリと新潟の架け橋になりたいと言う参加作家の願いです。



新潟薬科大学入口モニュメント除幕式



広州アートフェア



テイロー基金三人展

パリに生きる 新潟の作家たち

新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1

2018年1月27日(土)～3月11日(日)

※休館日 月曜日、2月13日(火)
(ただし2月12日、3月5日は開館)

開館時間 午前10時～午後5時
観覧料 一般 700円
大学・高校生 500円
中学生以下 無料

おいしかった 秋のバスツアー

鈴木 正博

秋のバスツアー

2017年10月14日(土)に恒例のバスツアーが開催されました。今回は米沢牛のおいしい昼食をいただき、その後山形美術館へ。少し紅葉が始まっていたため、素敵な秋のバスツアーとなりました。



総勢17名で好天に恵まれたバスツアーに参加して来ました。幹事さんの配慮の行き届いたご準備の下、会長挨拶から始まったツアー、すぐにいつも通りワインが引きも切らず提供され、山形での楽しくおいしいひと時に心馳せながら北に向かいました。

途中「めざみの里観光物産館」で新鮮野菜の手頃な販売に、思わずいち早く買い求める姿も。名前の「めざみ」はフランス語の「私の友達」の意味であることをガイドさんがユーモア交えて話題にして、ナント市から参加のマルチヌ・ピエールご夫妻の笑みを誘っていました。

米沢の「登起波」さんで絶品すき焼きの昼食。その後山形美術館へ向かい、吉野石膏社のフランス絵画コレクションの素晴らしいさに感動後帰途へ。若干一名の深酔い者が唯一利用のバスのトイレも美しく、スカイツーリストさんにも感謝の一日でありました。

新潟市の国際交流員として、イブラヒム・ダイエさんが着任されました。イブラヒムさんは、サミュエルさんの後任です。本間強代表理事と高木裕会長が、8月9日(水)に、新潟市国際課を訪問し、イブラヒムさんと懇談しました。彼は、ナント大学から新潟大学に留学し、本協会の会員のご厚意で、3ヶ月間、ホームステイも経験しました。留学中には弓道の部活に入ったという珍しい経歴の持ち主でもあります。新潟市とナント市、新潟市とフランスの交流において、イブラヒムさんが活躍されることを願うとともに、当協会としても、サポートしてゆきたいと思います。この10月にナント市で開催された「日仏文化対話」が彼の最初の大仕事になりました。



今年8月に新潟市役所に着任した国際交流員、ダイエ・イブラヒム(Daye Ibrahim)と申します。フランスの世界文化遺産に登録されたロワール渓谷のあるアンジェ市の出身です。

初来新は、平成26年、新潟大学交換留学生時代になります。留学生生活をきっかけに、日本語能力の向上を目指しながら日本の伝統的な文化に触れ、もともと、スポーツが好きだったこともあり、新大で弓道を始めました。

帰国直前は、日本滞在の延長を望み、新潟大学でフランス語を教えている駒形先生から新潟・フランス協会の本間前会長に紹介して頂き、本協会のメンバーである片桐さんの素晴らしい自宅にホームステイを4か月ほど経験することができました。

短い留学期間から得た知恵を活かそうと思い、一年前は東京のフランス大使館で、半年間のインターンシップをしました。今度は、有意義な一年目が過ごせるように努力したいと思います。

新潟の皆様、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ブルターニュのアイデンティティ

レア・メサジェ(Léa MESSEGER)

ナント大学派遣・新潟大学留学生



ブローリアンドの森

わたしはブルターニュ(Bretagne)の出身です。わたしの家族はみんなブルターニュに住んでいます。

この地方はフランスの北西部にあって、4つの県があります。フィニステール(Finistère)県、コート=ダルモール(Côtes-d'Armor)県、モルビアン(Morbihan)県とイル=エ=ヴィレーヌ(Ille-et-Vilaine)県です。

ブルターニュはフランスでいちばん長いアルモール(Armor)という海岸がある地域です。そこでは、海岸や港、漁村、灯台、花崗岩の崖などの観光地が人気です。それにシーフードを食べられるウォータースポーツもできます。

でも景色は海だけでなく、内陸も森や林や原野があり自然は豊かです。前史時代の巨石遺跡があります。カルナック列石(les alignements de Carnac)は4キロメートルに渡って巨石と支石墓が並んでいます。アレ山(les monts d'Arrée)という山もあります。ですから景色は様々です。

ブルターニュには豊かな文化があります。フェストノズ(Fest-Noz)という伝統的な踊りのお祭りに伝統的なブルターニュの服を着てみんなで一緒に踊ります。服の色は白黒です。女の人は白いレースの頭飾りを被りますが、男の人は黒い円形の帽子を被ります。音楽はビニウ(biniau)とボンバルド(bombarde)という吹奏楽器で演奏します。音楽は大切なブルターニュの文化ですから、音楽祭は多いです。例えばロリアン(Lorient)のケルト民族音楽祭(Festival Interceltique)は有名です。

ブルターニュの名物というと、すぐガレット(galettes)が思い出されますが、ほかの色々な料理とお菓子も食べることができます。塩漬バターキャラメル(caramel au beurre salé)もとても人気があり、大量のバターでよく作ります。クイニアマン(Kouign amann)はブルターニュを代表するデザートです。料理はシードル(cidre)を飲みながら食べます。シュシェン(Chouchen)はブルターニュのお酒です。発酵された蜂蜜から造られます。ブルターニュは強いアイデンティティがある地域です。



ブルーマナック灯台とグラニット・ローズ海岸

ポワティエ

アクセル・ミレボ(Axel MIREBEAU)

ナント大学派遣・新潟大学留学生



サン・ピエール大聖堂

私はポワティエに生まれました。ポワティエという名前は、ピクト人(Pictes)という民族に由来します。

ポワティエのあだ名は「百の教会がある街」で、その名の通りたくさん教会があります。まず、サン・ピエール大聖堂(Cathédrale Saint-Pierre)はゴシック様式の教会で、ポワティエでいちばん高い教会です。1379年にできました。次に、ノートル・ダム・ラ・グランド教会(Église Notre Dame La Grande)はロマネスク様式の教会です。なかにいろいろな色があり、夏にはライトアップされます。またサント・ラドゴンド教会(Église Sainte-Radegonde de Poitiers)はゴシックとロマネスクふたつの様式の教会です。ここにはクロテール1世(Clotaire 1er)の妻であるラドゴンド(Radegonde)女王の墓があります。ポワティエはとても古い町ですが、たくさん学生がいます。ポワティエの人口87,435人に対して学生数は27,000人です。

ポワティエはナントに近く、きれいな川がいくつも流れています。一番長い川はヴィエンヌ川(La Vienne)で、ポワティエのある県の名前にもなっています。



ノートル・ダム・ラ・グランド

ポワティエの名物は、ポワティエ風ガレットです。これはバターケーキで、私の父は朝食のときにこのガレットを食べます。そのほかの名物はモンモリヨンのマカロンですが、マカロンは高いです。

ポワティエの近くでは、夏休みにたくさん音楽祭があり、無料のフェスティバルも多いです。イベントもたくさんあります。

ポワティエは、ブライアン・ジュベール(Brian Joubert)さんが活動している街です。ブライアン・ジュベールさんはアイススケートのチャンピオンです。ポワティエに新しいスケートリンクができました。他にもスポーツといえば、ポワティエのパレーボールチームが活躍しています。

ポワティエの近くには、フチュロスコープ(Futuroscope)という有名なテーマパークがあります。ここは未来をテーマにした大きなアトラクションパークで、たくさんのアトラクションと映画館があります。なかでも、ベルラン・ロッテ(Bertran Lotth)さんというとても有名な手品師のショーが楽しめます。フチュロスコープはフランスではディズニーランド・パリに次いで入場者の多いアトラクションパークです。

イベントカレンダー

・6/16金
春の例会 ~トリオ・ベルガルモが奏でる美しいしらべ~

・①6/22木 ②7/20木 ③9/14木
④10/12木 ⑤11/16木
高木先生のフランス文化講座
高木ゼミナール(全5回)

・①6/1木 ②6/8木 ③6/15木
④6/29木 ⑤7/6木 ⑥7/13木
⑦7/27木
第26回 ロマン先生のフランス語講座入門編

・①9/28木 ②10/5木 ③10/19木
④10/26木 ⑤11/2木 ⑥11/9木
⑦11/30木
第27回 ロマン先生のフランス語講座入門編

・10/14土
秋のバスツアー

・11/8木
秋の例会
~小山瑠美子(ソプラノ)・
小黒亜紀(ピアノ)
秋の調べ~



事務局通信

事務局長 萱場和彰

今回Bonjourのテーマは「平和」としました。本日の皇室会議で今上天皇が平成31年4月30日に譲位され、改元は5月1日と決まりました。思い返してみれば、平成は1989年1月8日から始まりました。当時故小淵官房長官が「平らなることをねがい」と新しい年号を示されたことを鮮明に覚えております。

平成は今現在終わってはいませんが、平成年間というのは平和だったと言えるのでしょうか。この年の11月ブラックマンデーで株価が暴落してバブルがはじけました(実際に日本に不況が訪れたのはこの2から3年後

だったと記憶していますが)。その頃新潟・フランス協会は設立されたのですね。ですから平成の歴史をずっと見てきていることになります。

ベルリンの壁崩壊、東欧諸国の社会主義崩壊そして民主化、湾岸戦争、EUの統合、就職氷河期や資産デフレ、ユーロ通貨の開始、金融機関の破綻、9.11同時多発テロ、中越・中越沖、東日本大震災、アフガンやイラクでの戦争やISSによるテロなど事件や紛争が絶えませんでした。

しかしよく考えてみるとそれぞれの事件、災害、紛争が終わって深い悲しみがあったかもしれませんが、そこから新しい生活へ、時代へと希望を抱きながらスタートした時期もあったか或いはあるのだと思います。

物事には必ず始まりと終わりが存在します。何かが終わった後の次の始まりへ望みを捨ててはいけませんね。人間の記憶は始まり(初期効果)と終わり(直近効果)をよく覚えていると心理学ではわれています。平成の始まりとこれから到来するであろう終わり、それぞれが強烈なイメージを持っているかもしれません。でもそのど真ん中でもそれぞれ始まりと終わりがあって、そこに喜び、悲しみ、怒り、感激を感じながら現在を迎えていると思います。平和には始まりもあれば終わりもある。しかし終わりがずっと続くわけじゃない。

久しぶりに年2回の発行を行うことができました。Vol.31はこれで完了ですが、また次の始まりに向けて皆様よろしくお祈りします。

(株) アイト商店 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通10-1870 TEL 025-228-2337 FAX 025-228-7715	 池伝株式会社 〒950-0863 新潟市東区卸新町2-848-15 TEL 025-275-5136 FAX 025-275-5139	 株式会社 イシカワ 〒956-0801 新潟市秋葉区大蔵738-1 TEL 0250-22-2000	 Uoshoku (株)ウオシヨク 〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野450-1 TEL 025-283-7288 FAX 025-283-7218	 ANA CROWNE PLAZA NIIGATA 〒950-8531 新潟市中央区万代5-11-20 TEL 025-245-3333 FAX 025-243-0493
学校法人 エイシンカレッジ シェパティシエ専門学校 〒950-0911 新潟市中央区笹口2-9-1 TEL 025-242-0025 FAX 025-242-0026	酒 類 (株) 小 川 〒951-8041 新潟市中央区本間町2-2597 TEL 025-228-1631 FAX 025-222-1051	(有)小 川 屋 〒951-8063 新潟市中央区古町5 TEL 025-229-0111 FAX 025-222-6831	❖ 片山商事株式会社 〒950-0868 新潟市東区紫竹卸新町1927-24 TEL 025-274-1160 FAX 025-274-1285	 かやバ 〒950-0916 新潟市中央区米山1-11-3 エントリービル2F TEL 025-242-1577 FAX 025-242-1573
 KIRIN キリンビールマーケティング(株)新潟支社 〒950-8530 新潟市中央区東大通1-2-23 北陸ビル4F TEL 025-245-2321 FAX 025-241-6381	 gram3 株式会社グラムスリー 〒105-0013 東京都港区浜松町2-2-6 大塚ビル3階 TEL 03-6402-0303 FAX 03-6402-0302	 (株)JT B関東 法人営業 新潟支店 〒951-8063 新潟市中央区古町通6番町976 TEL 025-224-2201 FAX 025-229-5775 法人営業部 〒950-0082 新潟市中央区東万代町1-30 新潟第一生命戸田建設共同ビル3F TEL 025-255-5101 FAX 025-248-7687	 リラクソート 万代シルバーホテル 〒950-8533 新潟市中央区万代1-3-30 TEL 025-243-3711 FAX 025-243-3720	 J risk management J risk management Co., Ltd. (株)Jリスクマネジメント 〒951-8053 新潟市中央区川端町2-12-1 TEL 025-222-2025 FAX 025-222-2026
早福酒食品店 〒951-8162 新潟市中央区関屋本村町2-305 TEL 025-266-8101 FAX 025-266-8105	塚田牛乳 〒950-0213 新潟市江南区木津工業団地2-1 TEL 025-385-3911 FAX 025-385-4126	(株)天朝閣 五十嵐邸ガーデン 〒959-1944 阿賀野市金屋340-5 TEL 0250-63-2100 FAX 0250-63-1600	(医)とくなが女性クリニック 〒950-0932 新潟市中央区長潟837-1 TEL 025-286-4103 FAX 025-286-4107	ウォーターフロント&ナイスビュー 新潟グランドホテル 〒951-8052 新潟市中央区下大川前通3-2230 TEL 025-228-6111 FAX 025-228-0735
(株)新潟スカイツーリスト 〒950-0909 新潟市中央区八千代1-2-29 TEL 025-243-3177 FAX 025-243-0867	学校法人 新潟総合学園 〒950-0916 新潟市中央区米山3-1-46 TEL 025-255-5522 FAX 025-255-5523	 ALSO 新潟総合警備保障(株) 〒950-8633 新潟市東区小金町1-17-20 TEL 025-274-1965 FAX 025-271-3445	 NOTS Niigata Cooking Technical School 新潟調理師専門学校 〒950-0906 新潟市中央区東幸町8-8 TEL 025-244-2161 FAX 025-247-7928	 新潟日産自動車(株) 〒950-0881 新潟市東区榎町7-5 TEL 025-273-3171 FAX 025-275-5225
(株)新潟日報社 〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 TEL 025-385-7444 FAX 025-385-7446	新潟薬科大学 〒956-8603 新潟市秋葉区東島265-1 TEL 0250-25-5000 FAX 0250-25-5021	 JAM 日本アニメ・マンガ専門学校 〒951-8063 新潟市中央区古町通5番町602-1 TEL 0120-964-308	 日本旅行 NIPPON TRAVEL AGENCY 〒950-0087 新潟市中央区東大通1-3-8 TEL 025-248-1000 FAX 025-248-1011	株式会社バウハウス 〒950-0916 新潟市中央区堀之内南1-32-16 TEL 025-248-1960 FAX 025-248-1961
フェルミエ 〒953-0012 新潟市西蒲区越前浜4501 TEL 0256-70-2646 FAX 0256-70-2647	藤田金属(株) 〒950-8588 新潟市中央区八千代1-7-20 TEL 025-245-6666	 The Italia Ken (株)ホテルイタリア軒 〒951-8061 新潟市中央区西堀通7-1574 TEL 025-224-5111 FAX 025-224-7679	ホテルオークラ新潟 〒951-8053 新潟市中央区川端町6-53 TEL 025-224-6111 FAX 025-224-7060	ホテル朱鷺メッセ(株) ホテル日航新潟 〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1 TEL 025-240-1888 FAX 025-241-0877
 丸屋本店 〒951-8065 新潟市中央区東堀通6-1038 TEL 025-271-6111 FAX 025-225-5133	明日をもっとおいしく meiji (株)明治 関東支社 新潟南オフィス 〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地2-1-37 TEL 025-382-1056 FAX 025-382-1029	メルシャン(株)関信越支社 〒950-8530 新潟市中央区東大通1-2-23 北陸ビル 4F TEL 048-612-5828 FAX 048-612-8081	(株) よ ね 蔵 〒959-1232 燕市井土巻5-174 フジタビル2F TEL 0256-64-7432 FAX 0256-64-7955	新規会員様ご紹介 (個人会員様) ① 逸見 龍生 様 ⑤ 大島 信子 様 ② 浅妻 信 様 ⑥ 大島 拓己 様 ③ 羽田 雄至 様 ⑦ 鈴木大次郎 様 ④ 津田 文香 様

入会のお誘い
URL : <http://anfrance.com/>

年会費／個人会員 5,000円 学生会員3,000円 法人会員30,000円
申込先／事務局または各会員へ
事務局：丸屋本店 TEL・FAX 025(225)2424

《ANFカード特典利用》

フランス協会に入会していただくと、ANFカードをお渡し致します。そのカードを提示して、法人会員さま各社各店舗で特典が得られます。サービス内容が変更の場合もございますので、各店舗にて最新情報をご確認の上、ご利用下さい。

